

令和6年通常選挙 支部区域毎の社員(山形県)

選挙公報【詳細版】

●支部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 山形県支部)

- ①コールサイン : JE7MNS
②氏名(フリガナ) : 澁谷 信行 (シブヤ ノブユキ)
③年齢 : 75歳
④職業 : 無職
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士 (第二級陸上特殊無線技士 第四級海上無線通信士)

力を入れている無線活動

○体験運用を地域のイベントや祭り会場で実施、子供達にアマチュア無線の魅力を伝えている。

やまがた県南クラブの会長として、2021年に東北初の体験局 8J7YAA を開設し以後体験運用の普及に努めている。

○5.6GHz-ATV の機材を製作し、山岳移動による遠距離通信実験を実施している。

ドローン FPV ユニットと BS/CS パラボラアンテナを活用したアマチュアテレビジョンの実験に、クラブで取り組んでいる。
※かつて、アマチュア無線技士養成課程講座講師を20年以上務め、新人ハムの指導育成に貢献した経験がある。

支部長として JARL に対して自分ができる貢献(具体的に)

- ①会員の声をよく聞き、支部の運営に反映させるとともに、その声を JARL にも伝えていきます。
クラブ代表者会議やハムミーティング、メールなど様々な場面での意見や要望の集約に努めます。
- ②支部の活動を活性化させるため、登録クラブとの連携を深め、楽しめる行事を増やします。
各クラブの有用な行事や活動には支部からも支援(共催、後援等)し、行事の充実を図ります。
- ③若者や子供たちへアマチュア無線の面白さを伝える体験運用を支部として実施していきます。
各クラブで実施する体験運用への支援だけでなく、支部主催の体験運用にも取り組みます。
- ④情報提供に努め、支部内の活動だけでなく JARL や社会の動向なども積極的に発信します。
支部の Web やメール配信などを活用して無線関連の様々な情報を迅速に伝えていきます。
- ⑤支部運営に関して、若い力の活用に努め、支部役員等の若返りを促進してまいります。
若い方たちの発想や感覚を生かし、時代に即応したアマチュア無線の楽しみ方を考えていきます。

社員として JARL に対して自分ができる貢献(具体的に)

- ①他県支部(特に東北六県)との連携を進め、各支部間の交流を活発にしていきます。
・他県支部の行事(ハムの集い等)を互いに訪問し合い、情報交換してはどうか。
・隣県支部が協力して、合同による無線関連のイベントが実現できないか。
・各県支部の代表による支部活動の実践発表シンポジウムが開催できないか。
- ②東北アマチュア無線フェスティバル(仮称)の開催の実現を目指します。
・2018年3月に「東北復興アマチュア無線フェスティバル」が仙台市で開催されて以降、東北地区では広域のハムイベントが全く開催されていないので、その実現に向けて他県支部長や東北地方本部長に呼びかけ、連携して JARL に開催の支援を求めていきます。